

教材体験コーナー

Wolfram 言語/Wolfram Cloud を活用した「AI とデータサイエンス入門」(本学の共通教育科目)の教材を体験してみてください。

Wolfram Cloud は無料版もありますが、有料版の体験版をご希望の方は、「講演会アンケート」もしくは event-japan@wolfram.com 宛に名前(ローマ字)を添えて Email でリクエストしてください。

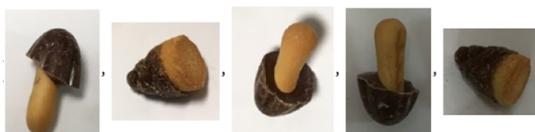
その他の事例や Wolfram 言語の使い方は、Web サイトをご覧ください。 <https://www.wolfram.com/japan>



身近なデータで機械学習！

<https://wolfr.am/12qVM72wY>

お菓子の「きのこの山」と「たけのこの里」を機械学習で分類できるか実験してみよう。



あなたのスマホでも
写真をとって判定してみよう！



判定結果から考えよう！

- アプリはどうやって判定しているのか？
- 正しく判定できた理由、できなかった理由は何だと思う？
- より良い判定をするには、どうしたらよい？

AI で笑顔判定！はこちら >>
<https://wolfr.am/1210>



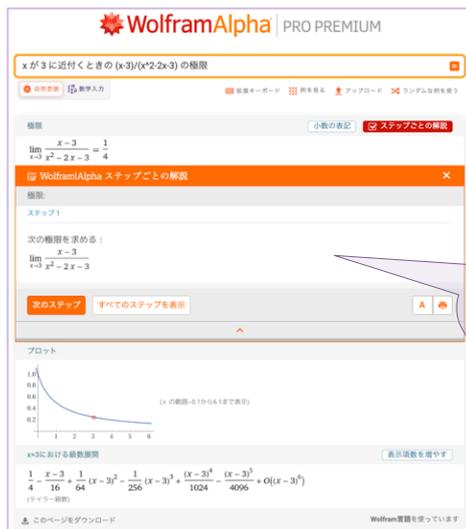
Wolfram|Alpha で AI を体験！

<https://www.wolframalpha.com>

"問い" に対して正しいデータを元に "答え" を返す計算知識エンジン「Wolfram|Alpha」に質問してみましょう。



トピックのリストから例題を見てみましょう。
「ピカチュウ」や「大谷翔平」のデータも見れますよ！

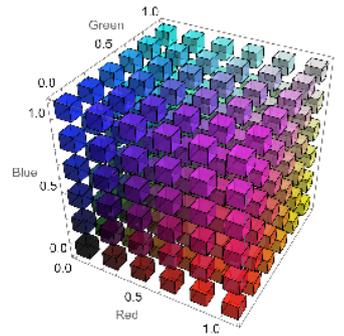


算数・数学の問題は、
日本語に対応しています！
例題からどんな問題が解けるのか試してみてください。

「ステップごとの解説」では
計算の過程を教えてください。

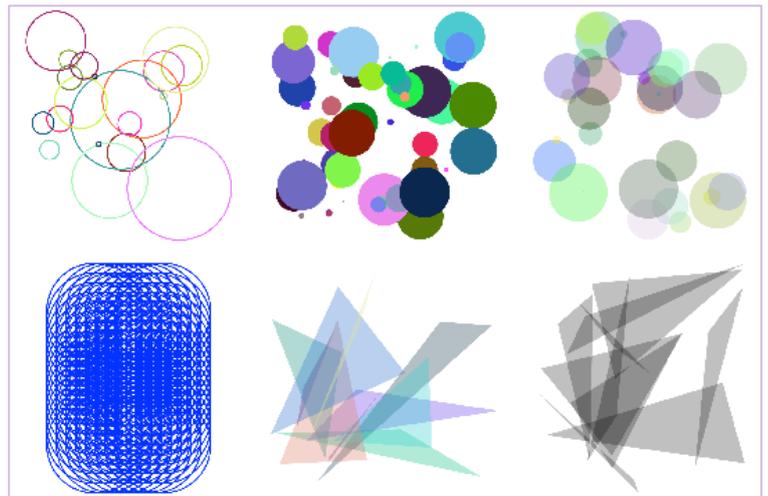
第 4 章 データ活用のための技術 (構造化データと非構造化データ)

- 光の三原色 (RGB)—RGB の組み合わせでどのように色がかわるか試してみよう。
- 画像処理—画像データの中身を見て、コンピュータが画像をどう扱っているのかを実感しよう。
- 音の処理—音データの波形を見てみよう。
- 音声処理—テキストから音声合成してみよう。



第 8 章 プログラミングでアート作品を作ってみよう。色や個数を変えてみよう！

基本のプログラムをアレンジして、Opacity, Disk, Polygon などを使うと、さまざまな色や形のアート作品ができます。



第 12 章 ワードクラウドを作ってデータビジュアライゼーション

出現回数が多いほど、大きい文字で描画されるワードクラウド。よく出てくるワードが一目瞭然です。



左:『みだれ髪』(与謝野晶子), 右:『吾輩は猫である』(夏目漱石)

◆ 8 月 7 日の講演会スケジュール (会場:ND ホール&アクティブラーニングスペース)

- 16:00-16:10 開会挨拶 (学長補佐 神月紀輔)
- 16:10-16:50 「生成系 AI(ChatGPT 等) 超入門」～教育者がおさえておきたいポイント～
- 16:50-17:30 「楽しく学べるデータサイエンス教材の提案」～『講義+実習』で理解を深める Wolfram Cloud の活用～
- 17:30-18:00 意見交換会@アクティブラーニングスペース～冷たい飲み物を飲みながら～
- 18:00 閉会挨拶 (社会情報課程長 吉田智子)